

特別展 上村松園・松篁・淳之一松伯美術館名品展 受けつがれる美へのまなざし
会 期 2005年4月16日(土)～6月12日(日)

松伯美術館は、日本画家である上村松園・松篁・淳之の作品を収蔵、展示する美術館として、平成6年3月、奈良市に開館しました。本画や下絵の他に、画家が愛用していた画材なども収集、公開し、その画業を広く紹介しています。また、公募展として、「松伯美術館花鳥画展」を開催し、日本画の普及や若手作家の育成に尽力しています。

上村松園は、美しい女性美を追求して格調高い美人画を確立し、昭和23年に女性として初めて文化勲章を受章しました。新制作協会・創画会を中心に活躍し、日本画の革新を牽引した松篁は、現代の新しい花鳥画の世界を切り拓きました。また、父の禽舎を拡張して鳥とともに暮らす淳之は、東洋絵画の独自性を守りながら生命の温もりを描き続けています。それぞれの高みに到達した三者の画業は「上村三代」とも称され、時代を代表しつつ、日本画界に稀に見る系譜を残しています。

本展では、松伯美術館の協力により、収蔵作品のなかから代表作をご紹介します、明治から平成にいたる120年の間、親・子・孫にわたって受けつがれてきた、美に対するまなざしと感性をたどっていただきます。

会 場	高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)
時 間	午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで) 金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)
休 館 日	毎週月曜日 4/29～5/8は休まず開館します 会期中の休館日：
観 覧 料	一般：700円 (600円)、大高生：500円 (400円)、中小生：300円 (250円) <ul style="list-style-type: none">● ()内は20名以上の団体割引料金● 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります● 市内に居住する小中学生については、毎週土曜日は無料となります
主 催	高崎市タワー美術館
特別協力	松伯美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 記念講演会「余白の美」 日本画家・上村淳之 4/16 13:00～
- 作品解説会 4/30、5/14、5/28、6/11 14:00～